



ボランティアの たまご



NO.176
7月号

編集・発行／四日市市ボランティアセンター 令和2年6月20日発行

活躍中のボランティアさんの声をお届け!!

ボイス

VOICE

「隣の人が困っていたら声をかける
それがボランティアのはじまり」



いなげ ゆみこ

今回は稲毛 由美子さん

「特定非営利活動法人 ウィミンよっかいち」代表。デイサービス事業を運営しながら地域住民のための居場所づくりを行っている。平成29年からは四日市市介護予防・日常生活支援総合事業を住民主体サービスとして開始。

年齢や性別、障害に関わらず、だれもが住みやすいまちづくりを進めるために、さまざまな活動に参加している。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

『ウイミンズカレッジ』という市主催の女性の視点に立ったまちづくり講座に参加したことがきっかけです。受講後、車椅子トイレマップの製作や高齢者施設でのボランティアなど、ハンディキャップのある人たちと一緒に活動するようになり、公的サービスだけでは支えられない狭間の課題を認識しました。住民自らそれに取り組むべきだと感じ、「ないサービス（必要なサービス）は新たに作る」の精神で取り組んでいます。

Q. 活動の中で大切にしていることは何ですか？

人と人とのつながりを一番大切にしています。迷ったり悩んだりした時、“積極的な方を選択しよう” “後悔するより失敗したとしても挑戦して学びを得よう” と心がけているのですが、活動の中で培ってきた人間関係がいつも自分を助けてくれます。利用者の皆さんにも居場所を通して仲間づくりをしてもらえるよう意識しています。

Q. 活動の魅力はどんなことですか？

来てくれた人の喜ぶ顔が見られることです。料理と同じで、喜んでくれる人がいるからこそ、もっと頑張ろうと思えますし、「こんな場所が欲しかった」と声をかけてもらえると本当に嬉しいです。

Q. 最後に一言！

1人で10人は助けられないかもしれないけど、隣の人が困っていたら「何かお手伝いしましょうか？」と声をかけることはできるし、それがボランティアの始まりだと思います。

毎月1回、地域の皆さんに集いの場として施設を開放しているので、興味のある人はぜひご参加ください！

三重とこわか大会
応援企画☆

GO! GO! とこわか大会

水 泳

2021年に三重県で開催される第21回
全国障害者スポーツ大会「三重とこわか
大会」。今回は『水泳』を紹介します！

身体障害のある選手と知的障害のある選手が出場できる競技で、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの各25m・50mとリレー2種目を実施します。

ターンとゴール時に壁への衝突を防ぐため、視覚障害のある選手に安全な棒を使ってタッピングしたり、障害の種類や程度によっては、水中スタートや浮具の使用が認められるなど、競技方法を工夫しています。



障害の種類や程度、運動機能などに応じてクラス分けをし、
そのクラスごとに競技を行います。



【開催場所】

鈴鹿市 「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場」（鈴鹿市御園町1669）

コロナ禍でのボランティア活動について

ボランティアセンターに登録いただいている団体に、新型コロナウイルス感染症防止対策によるボランティア活動への影響について少し聞かせていただきました。全ての団体からお話を伺うことができませんでしたが、ご協力ありがとうございました。

その中で「活動を再開させたいけど、何に気を付けるといいのかな…」「他団体は何か工夫をされているのかな？」などの声を多くいただきましたので、【感染症防止対策のポイント】【各団体の工夫】を紹介します！

☆感染症防止対策のポイント

- ①参加者への手洗いや消毒の推奨を行うこと
- ②参加者にマスクの着用を求めること
- ③発熱や咳症状がみられる方には参加自粛を要請すること
- ④高齢者や基礎疾患をお持ちの方で感染リスクを心配される方には参加自粛を要請すること
- ⑤3つの密（密閉、密集、密接）を回避すること
- ⑥密閉された空間で大声での発声や歌唱を行わないこと
- ⑦行事の前後や休憩時間などの交流を極力控えること

四日市市 ホームページより引用

各団体の工夫

活動場所、やり方の変更

- ・公園など屋外での会議
- ・人数を調整して、グループごとに学習会
- ・LINEを活用したオンライン定例会、学習会

できることに注目！

- ・備蓄用のマスクなど衛生用品を学童保育などに配布（災害支援団体）
- ・口元が見えるよう透明マスクを自作（手話学習）
- ・マスクや雑巾など手芸物の作成
- ・読み聞かせや踊りなどの自主練習

などなど…

下記のホームページも参考に見てみてください！

- ・四日市市社会福祉協議会
『小地域福祉活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』
- ・四日市市 「四日市市主催行事中止等の対応見直し」
- ・厚生労働省 「新しい生活様式」

助成金情報

この団体では寄付の受入も行っています。
詳しくはホームページで確認ください。



コロナ禍を乗り越える四日市市民ささえあい特別基金（略称 四日市市民コロナ基金）

対象者：主に四日市市で活動している市民活動団体・グループ

対象経費：新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴って発生しているさまざまな課題について、これを乗り越えるためのさまざまな活動。

例）孤立する子どもや高齢者等への支援活動、貧困に陥っている人への支援活動、不足している物資の提供活動、遠隔での活動を行うための研修や機材の購入等

助成額：申請書に記載された活動内容に基づき、1件につき1万円～10万円程度

応募締切：9月30日 ※残額が不足した場合は配分を停止する。

問合せ先：（公財）ささえあいのまち創造基金 四日市市菅生町1200 四日市大学内

TEL:059-352-0010 FAX:059-359-7281 HP: <http://mie-ssb.jp/>

ボラセン伝言板

サマーチャレンジ2020、ボランティアのつどい

中止のお知らせ



例年実施している「サマーチャレンジ2020」と「ボランティアのつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止させていただくことになりました。参加を楽しみにされていたみなさんには大変申し訳ありません。

来年度はさらにパワーアップした企画を準備いたします。ぜひご参加ください！

ボランティア募集

☆ボランティアニュース封入のお手伝い

依頼団体：四日市市ボランティアセンター

日時：令和2年7月21日（火）13:30～15:30 ※13:30現地集合

場所：総合会館4階 技能習得室 申込締切：7月20日（月）

状況によっては
中止の場合も
あります。



※その他のボランティア募集や助成金情報、イベント・講座情報はホームページにも掲載しています。

フェイスブックページも随時更新中！「いいね」を押してね！ URL: <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/> ⇒⇒⇒



「はじめてのボランティア説明会」のお知らせ

「ボランティアってよくわからない」という人も参加OK！一緒に自分に合った活動を見つけていきましょう！

日程：7月 7日（火）10:00～11:30

8月 4日（火）10:00～11:30

7月14日（火）19:00～20:30

8月11日（火）19:00～20:30

7月18日（土）13:30～15:00

8月22日（土）13:30～15:00

※参加ご希望の方は事前にボランティアセンターまでご連絡ください。

※状況によっては中止の場合もあります。



※『ボランティアのたまご』に関する問い合わせ・申し込みは、ボランティアセンターまでお願いします。

※『ボランティアのたまご』を掲示していただける場所や、置かせていただける場所を募集しています。

心当たりの場所がございましたらご紹介ください。

ボランティア活動をはじめてみたい人、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！

四日市市ボランティアセンター 住所 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館2階)

TEL 059-354-8144 FAX 059-354-6486 E-mail y-vc@m3.cty-net.ne.jp

